

# 不退転

第 148 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

二学期終業式でプレゼンテーションしたスライドの一部を紹介します。今回は、これまでのスライドショーとは違い、私の幼児の頃からの写真を紹介し、昔の私の夢について語りました。私の思いは生徒たちに伝わったでしょうか？

## 二学期終業式

2017年12月25日(月)

自分自身に厳しくあれ！そうすれば、いつかは目標が達成されると思う。受験勉強なんて所詮“自分自身との闘い”ではないだろうか。

“雲の上には、いつも太陽が輝いているのです。”努力していれば、いつかきっとその努力が報われる時が来るのだ。その努力が決して無駄になることはないのだ、と私は信じていた。

2

1

「得意な人に助けてもらいなさい」

自分が苦手なことは、得意な人に助けてもらう。

自分の得意分野で、お返しすればいいのだから…。

そうすることが、「きき合い、支え合い、学び合う」ことにつながる。

4

3

私のモットーは、  
「変えるのは自分。変わるのも自分。」  
～「学ぶ」とは、何かに気づき、自分が変わること～

変えるのは難しいが、戻すのは簡単なので、変えるためにまず、やってみる。そして、少しずつ、ゆっくり改善してみる。

それでもダメだったら、戻すのは簡単だから、元に戻せばいい…!!

だから、「だまされたと思ってまず、やってみろん。」「ほらね。だまされて良かったでしょ…!!」と言いつづけたい。

「志(こころざし)を立てる」

進級・卒業後の生活や進路に向けて、新年の志を立ててください。

全員が元気で、志を持ち、引き締まった笑顔で、三学期に会えることを楽しみにしています。

6

「夢は変わってもいい」

夢に向かって努力し続けることが、次の夢・目標につながる。

「〇〇になりたい」という夢実現のため努力したから、「□□になる」という次の目標を達成できた。そして、今がある。

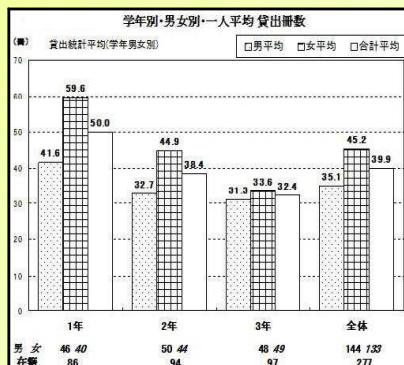
5



よいお年をお迎えください。

109 87 65 43 21 二学期多読者ベスト10

11冊	11冊	11冊	11冊	11冊	11冊	11冊	11冊	11冊	11冊
4冊	5冊	5冊	5冊	5冊	6冊	7冊	7冊	7冊	8冊
9冊	0冊	4冊	7冊	8冊	2冊	1冊	3冊	9冊	4冊
比根	樽見	玉城	比嘉	島袋	崎浜	上里	崎浜	糸数	久高
美空	樹雄	瑚雄	稜美	那美	琉花	陽菜	花蓮	流夏	伶華
(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)	(1年2組)



学年別では1学年の貸出(一人平均50冊)が最も多く、学級別では1年2組の貸出(一人平均59.7冊)が最も多い。前年度に比べると男子は平均約6冊、女子も9冊増えています。

「図書貸出冊数」がすごい

**生徒会役員を務めて 副会長:金子 晴姫(3の3)**



私が生徒会役員を務めて学んだことは、まず積極性です。3年生に進級する前までは、「人前に立つ」、「しゃべる」、「指示する」などの表に出ることをするのが苦手でした。でも生徒会役員になり、みんなをまとめたり、集会などで発表したり、学校行事の運営などの活動をして、積極性が大事だと学びました。

次に、自分はこれまでこんなにサポートされてきたんだと実感したことです。生徒会役員を務める前は学校行事などで、先生方や先輩方の生徒会役員が大変な思いをして自分たちをサポートしてくれていたとは知らずに、ただ行事を楽しんでいました。しかし、生徒会役員になって行事などを運営するようになってからは、先生方のサポートや運営の大変さを知り、今まで自分たちがこんなにサポートされてきたんだと実感し、先生や先輩方への感謝の気持ちを持ちました。生徒会役員を務めたことで精神面でも成長することができました。高校でもこの経験を活かしていきたいです。

**初めての生徒会 補佐:大城 怜王(2の3)**



僕は中学生になって初めてみんなの前に立つ役目になりました。印象に残っていることは、真弓先生はこわい人だと思っていたけど、生徒会役員になって初めておもしろい人だと知ってうれしかったです。また、3年生の先輩方もとても優しく話しやすかったです。楽しかったイベントは不転祭です。最初は自分のかぶるものがマスクと知って恥ずかしくて、前に出るときはとても緊張しました。だけど、みんなが笑ってくれたので大丈夫でした。先生に怒られてこわかったときもありましたが、1年間生徒会役員としてがんばってこれました。来年は生徒会役員になってもなれなくても、この1年で学んだことを使って、みんなを引っ張っていく存在になりたいし、みんなの前に立てるいい先輩になりたいです。

**世界が変わった 議長:中村 舜(3の3)**



僕は今まで、大きい声を出せば人は皆僕の言うことを聞いてくれるかと思っていました。だけど、1年間生徒会執行部として活動し、色々な行事を行っていくうちに、人をまとめることの難しさを知りました。大人数の中でどれだけ大きい声を出しても全然聞いてくれなくて、初めの頃はとても苦戦しました。でも少しずつではありますが、いつの間にか人をまとめるのが楽しくなっていました。そして、真弓先生に色々なアドバイスをもらい、僕は本当に人として成長することができたと思います。

新しくこの学校をまとめていく新執行部の皆さん。色々苦労すると思いますが、その苦労を乗り越えた先には感動が待っているということを入れて、これからの1年間がんばってほしいです。

**2年間で学んだこと 会計:花城 枝音弥(3の1)**



私は中学校生活のほとんどを執行部として過ごしました。1年生の3学期からは補佐、2年生の3学期からは会計として、この2年間で学んだことが沢山あります。

朝のあいさつ運動では、あいさつの大切さ、継続することの大変さ、生徒会主催の各行事では、裏方や運営の責任の重さ、赤い羽根や熊本の募金活動では、皆で一つのことに取り組み、それを達成することの難しさなど、本当に沢山のことに挑戦し、学ぶことができました。顧問の真弓先生は、しょっちゅう怒るし怖かったけれど、いちばん執行部のことを考えてくれていたし、補佐のときの先輩、会計のときの先輩や後輩とは、仲間同士支え合い、共に頑張ってきた。

2年間執行部としてやってきて「やめたい」とは一度も思ったことがありません。面倒くさいと思うことはあったけど毎回とても楽しかったです。真弓先生、楓麻、朝陽、舜、晴姫、り子、怜王、詩音の9名で執行部の仕事ができて本当に良かったです。ありがとうございました。

**1年を通して学んだこと 補佐:宮平 詩音(2の1)**



私はこの1年を通して、たくさんのことを学び、成長することができました。まず、たくさんの人をまとめることの大変さです。新入生歓迎会や、運動会、不転祭などのたくさんの行事で準備や運営をして、先輩たちが声かけをしても、あまり指示が通らないことがよくありました。その様子を見て、人をまとめることはすごく大変なことだと学びました。

次に、私が成長できた点は、積極性です。執行部になりたての頃は、先輩に声をかけることもできなかつたし、人前に立つこともすごく苦手でした。でも1年を通して、分からないことは先輩に聞けるようになったし、人前に立つのも苦手ではなくなりました。

私はこの1年でたくさん学ぶことができたので、その学びを3年生になった時に活かせるようにしていきたいです。真弓先生や先輩方、迷惑ばかりかけたけど、本当にありがとうございました。

**生徒会執行部をふり返って**



**副会長:新垣 朝陽(3の3)**

2年生の1月から僕は生徒会副会長になり、新執行部がスタートしました。最初に行った新たな試み「黙動清掃」では、反対意見も多く、大変でしたが、今では少しずつ定着してきていると思います。

生徒会執行部で企画・運営した不転祭りや、とても忙しかった運動会の仕事も、とても印象的ですが、僕はそれよりも毎日の朝のあいさつ運動がとても印象的です。僕は朝が弱く、遅れてきたり、間に合わなかったことが多かったのですが、結局は3分の1かそれ以下しかあいさつしてないと思います。それでも執行部の皆は笑うだけで、許してくれました。今考えると、とても自分勝手なのに、許してくれた執行部に感謝です。その分、放課後はいっぱい働いたので良いということをお願いします(冗談です)。

この1年間でいろいろな壁にぶつかったけど、執行部で協力して考えたり、笑い飛ばしたりしてこれました。この仲間で本当に良かったと思っています。担当の先生は厳しかったけど、面白い独特な先生でした。校長先生の上をいく存在で恐れていましたが、意見がぶつかったときの言い合いが、今となっては面白い思い出です。この1年間で自分自身、執行部が急成長できたのは先生のおかげです。本当にありがとうございました。

第41代生徒会執行部として活動できたことを誇りに思っています。その思いを胸に、これから進学して、旅立っていききたいと思います。1年間、お疲れ様でした。

**生徒会執行部をやった 書記:岸本 り子(3の2)**



私が約1年間生徒会執行部をやったことは2つあります。1つ目は、今何をしたいのか、誰が困っているのかを見て、考えて行動することの大切さです。周りをよく見て行動することで、今自分が何をしたいのか、今まで見えなかった面も見ることができるようになりました。

2つ目は、何かをする時には、1人では何もできないということです。自分や執行部だけが何かしたいと思っても、協力してくれる人が何かしたいと思っても、協力してくれる人や同じ気持ちを持った仲間がいなくて、何も行動にうつすことはできないということです。

そして、私は生徒会執行部の活動を通し、友達や支えてくれる人、親の大切さを知ることができました。